

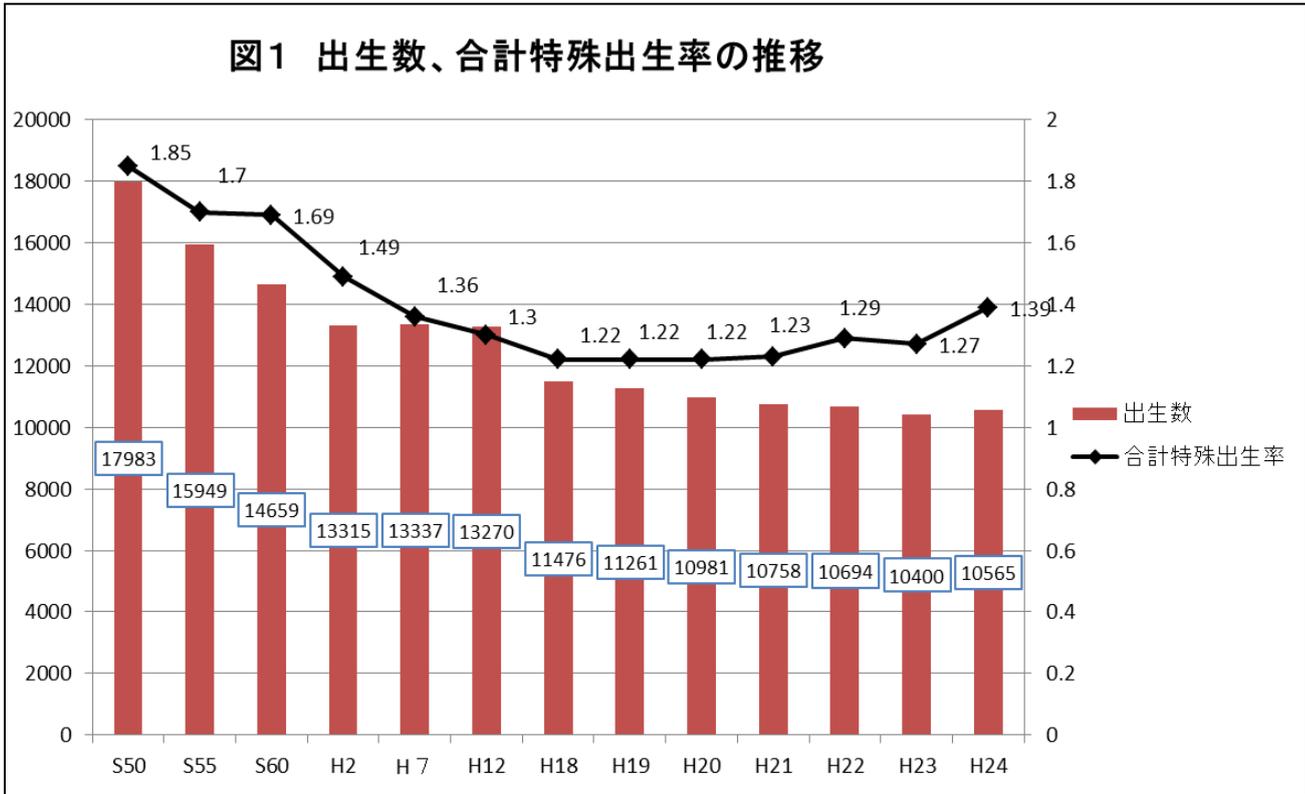
奈良県の主な母子保健統計の動向

表1 母子保健分野の主な人口動態統計

次		項目	年	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	(参考)H24 全国		
出生	出生数(人)			11,749	11,184	11,476	11,261	10,981	10,758	10,694	10,400	10,565	1,037,231		
	複産出生数(人)			295	286	285	307	307	231	228	215	200	20067		
	出生率(人口千対)			8.3	7.9	8.2	8	7.9	7.7	7.7	7.5	7.7	8.2		
	合計特殊出生率			1.16	1.19	1.22	1.22	1.22	1.23	1.29	1.27	1.32	1.41		
	低出生体重児	総数(人)			1,048	1,066	1,110	1,107	1,081	999	973	953	955	99,311	
		～ 499g			4	1	2	1	7	5	2	0	2	293	
		500～ 999g			33	24	41	31	42	31	18	20	27	2,906	
		1,000～1,499g			47	46	37	52	35	32	49	50	35	4,786	
		1,500～1,999g			112	133	139	129	135	121	128	119	129	12,502	
		2,000～2,499g			852	862	891	894	862	810	776	764	762	78,824	
率(出生千対)			89.2	95.3	96.7	98.3	98.4	92.9	91.0	91.6	90.4	95.7			
再掲)極低出生体重児(出生千対)			7.1	6.3	7.0	7.5	7.6	6.3	6.5	6.7	6.1	7.7			
死産	数(人)			333	330	340	281	285	257	275	293	269	24,800		
	率(出産千対)			27.6	28.7	28.8	24.3	25.3	23.3	25.6	28.2	25.5	23.4		
	自然死産	数(人)		152	165	159	128	131	119	138	152	124	11448		
		率(出産千対)		12.5	14.3	13.5	11.1	11.6	10.8	12.9	14.6	11.7	10.8		
	人工死産	数(人)		181	165	181	153	154	147	137	141	145	13352		
		率(出産千対)		15.0	14.3	15.3	13.3	13.7	12.5	12.8	13.6	13.7	12.6		
死亡	乳児死亡	数(人)		41	38	29	23	30	43	24	14	25	2299		
		率(出生千対)		3.5	3.4	2.5	2.0	2.7	4	2.2	1.3	2.4	2.2		
	新生児死亡	数(人)		18	16	15	11	18	21	8	9	7	1065		
		率(出生千対)		1.5	1.4	1.3	1.0	1.6	2	0.7	0.9	0.7	1.0		
	周産期死亡	総数(人)			62	60	71	48	61	56	42	53	35	4133	
		率(出産千対)			5.3	5.3	6.2	4.2	5.5	5.2	3.9	5.1	3.3	4.0	
		妊娠満22週 以後の死産	数(人)		50	46	62	40	47	40	35	47	31	3343	
			率(出産千対)		4.2	4.1	5.4	3.5	4.3	3.7	3.3	4.5	2.9	3.2	
		早期新生児死亡	数(人)		12	14	9	8	14	16	7	6	4	790	
			率(出生千対)		1.1	1.3	0.8	0.7	1.3	1.5	0.7	0.6	0.4	0.8	
		妊産婦死亡	数(人)		2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	42
			率(出生10万対)		17.0	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.9	4.0
率(出産10万対)			16.6	0	16.9	0	0	0	0	0	0	18.5	4.0		

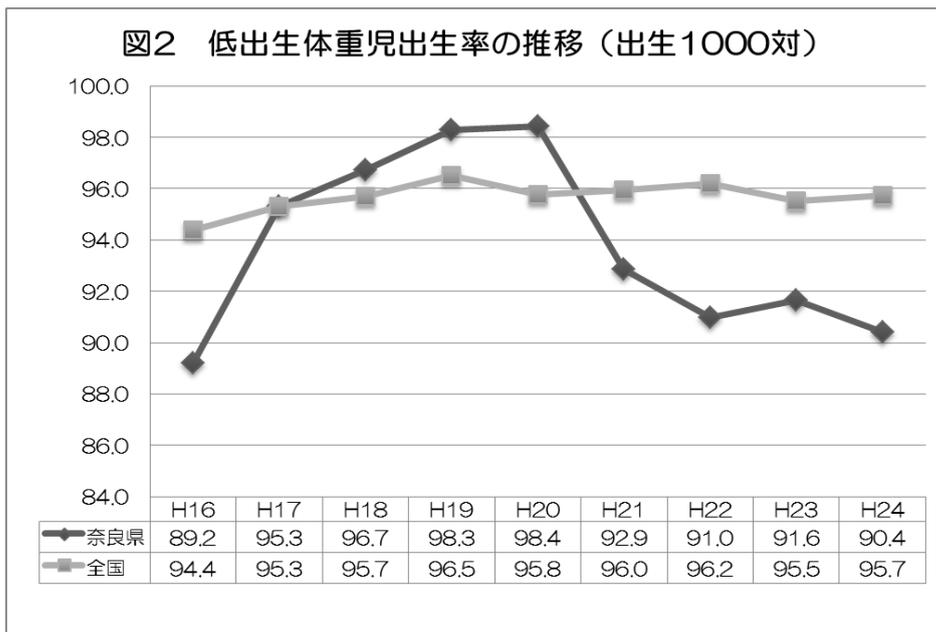
出典:「人口動態調査」より算出

図1 出生数、合計特殊出生率の推移
 出生数は平成24年度にやや増加し、合計特殊出生率も増加傾向である。



出典:人口動態調査

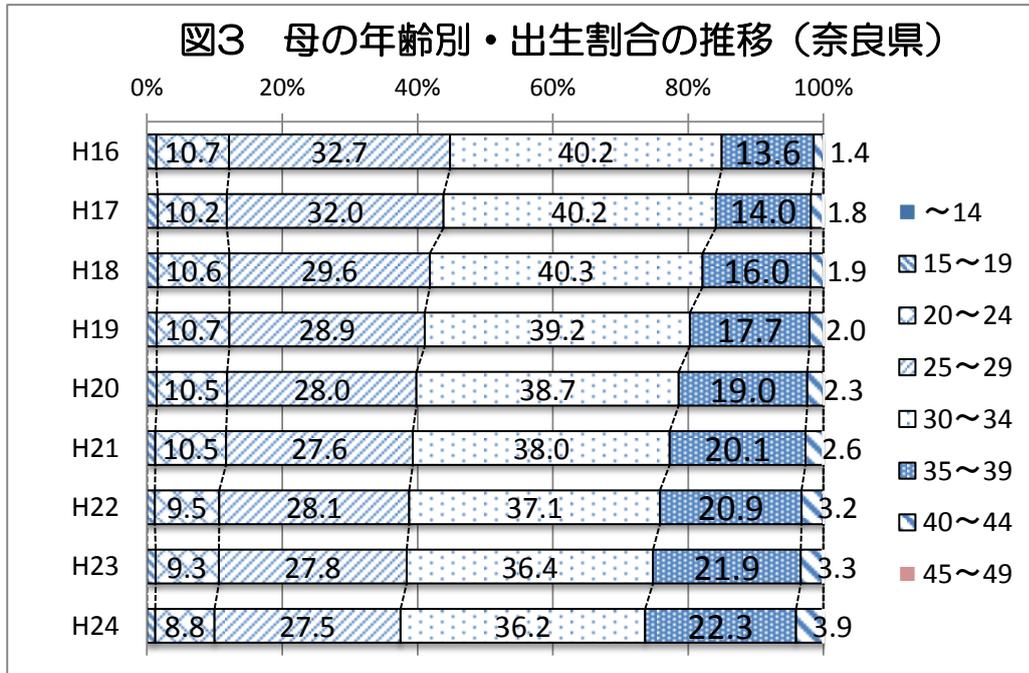
図2 低出生体重児出生率の推移
 低出生体重児出生割合全国的にほぼ横ばい、奈良県は平成18年に全国を上回るがその後減少。



出典:人口動態調査

図3 母の年齢別・出生割合の推移

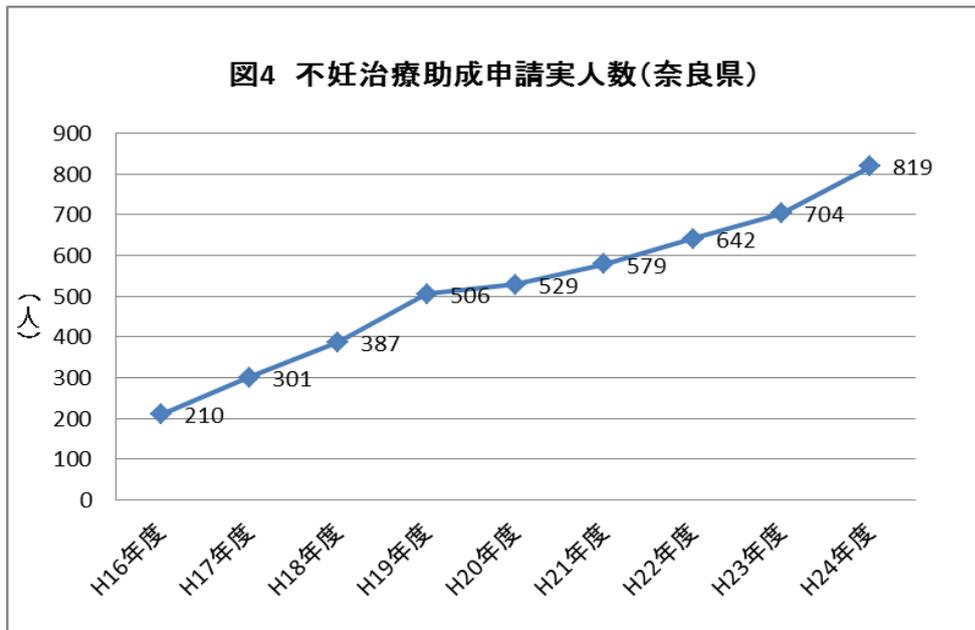
平成23年度では30歳以上での出産が約60%を占め、35歳以上は約25%。
35歳以上での出産が増加、全体的にみても出産年齢の高齢化がみられる。



出典：人口動態調査

図5 不妊治療助成申請実人数

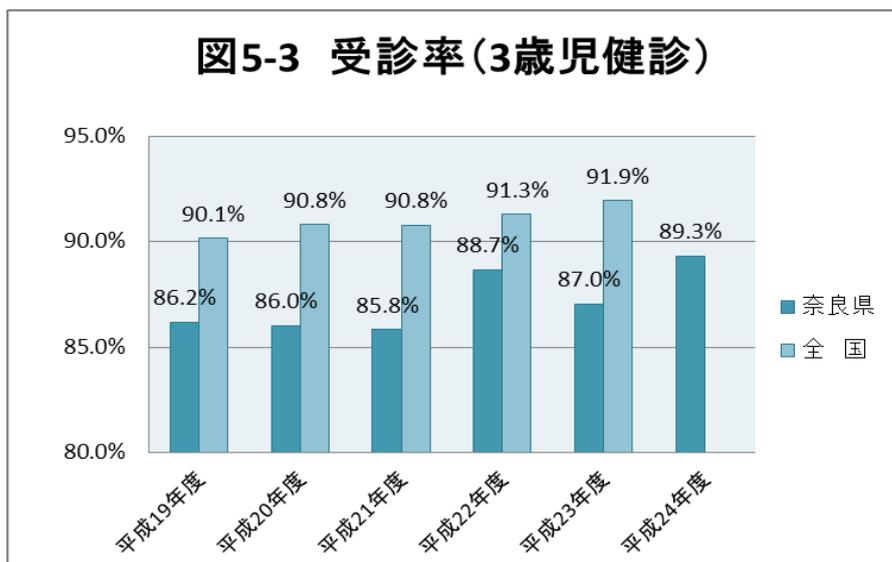
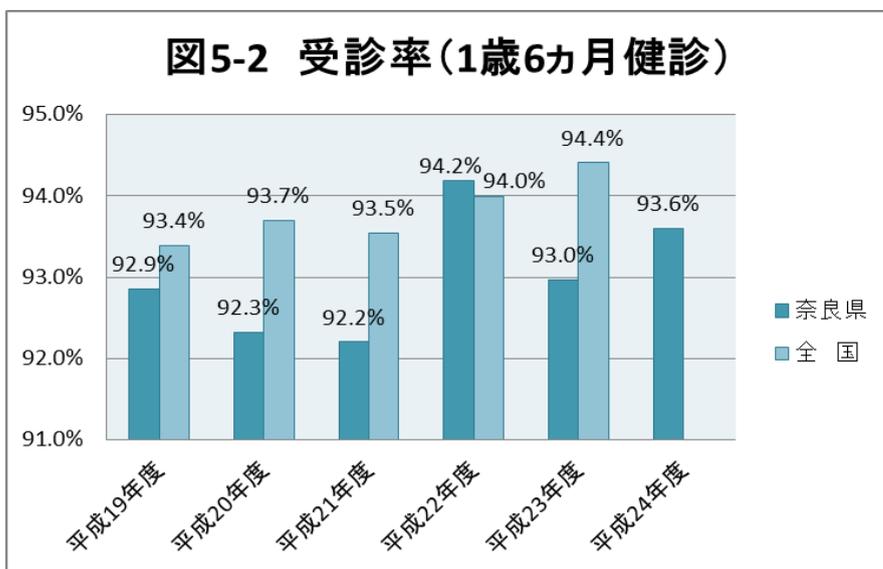
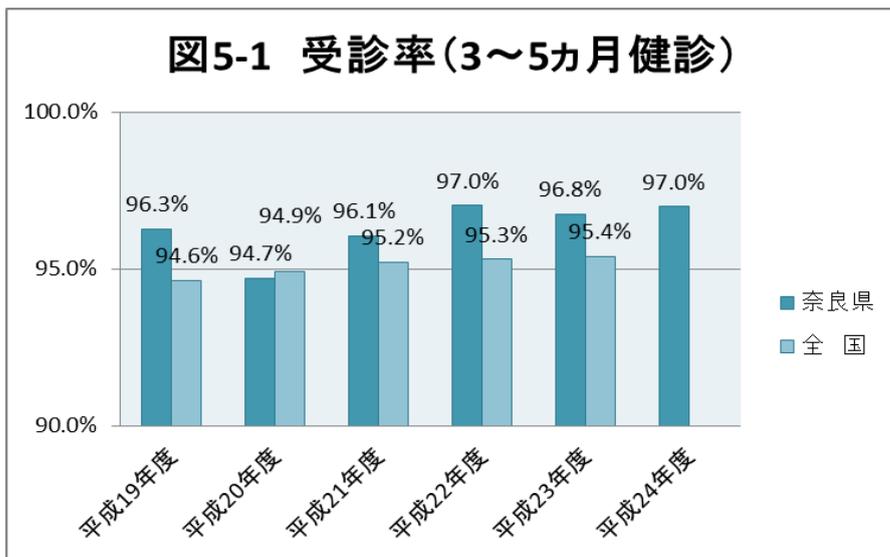
平成16年から徐々に増加し、ここ年間で約1.5倍となっている。



出典：奈良県実績、奈良市実績

図5 乳幼児健診の現状について

3～5か月健診以外は全国よりやや低い受診率であるが、平成24年はいずれも健診受診率が上がっている。精密検査の受診率については平成23年度、全国とほぼ変わらない受診率であった。



出典：市町村事業実績報告、地域保健・健康増進事業報告